

二酸化炭素濃度測定器（CO₂モニター）の設置について

日頃から本校の新型コロナウイルス感染症対策に御理解、御協力いただき、厚くお礼申し上げます。

感染症対策のうち、全市立学校への二酸化炭素濃度測定器（CO₂モニター）の設置について、市教育委員会より通知がありましたので、本取組の概要を保護者の皆様にお知らせします。

これに伴い、本校も各クラスにCO₂モニターを設置して換気に取り組むとともに、CO₂濃度等をWEBページに公表しています。URLについては、今後本校ホームページにリンクを掲載する予定ですので、お子様と本取組や換気等についてお話いただければ幸いです。

横浜市立学校では、感染症対策の一環として教室の換気に努めています。

令和5年1月10日(火)から、各クラスの場所や場面に応じて、効果的な換気を行うことができるよう、全市立学校、全クラスに二酸化炭素濃度が測定できるCO₂モニターを設置しています。これにより「空気の見える化」が行われ、児童生徒の換気の実践や意識の向上を図り、安全・安心な学校環境につなげていきます。

また、保護者の皆様にも安全・安心な学校環境を知っていただくきっかけとして、各校に設置するCO₂モニターのうち4台をインターネットに接続し、全市立学校の二酸化炭素濃度等をWEBページに公表しています。

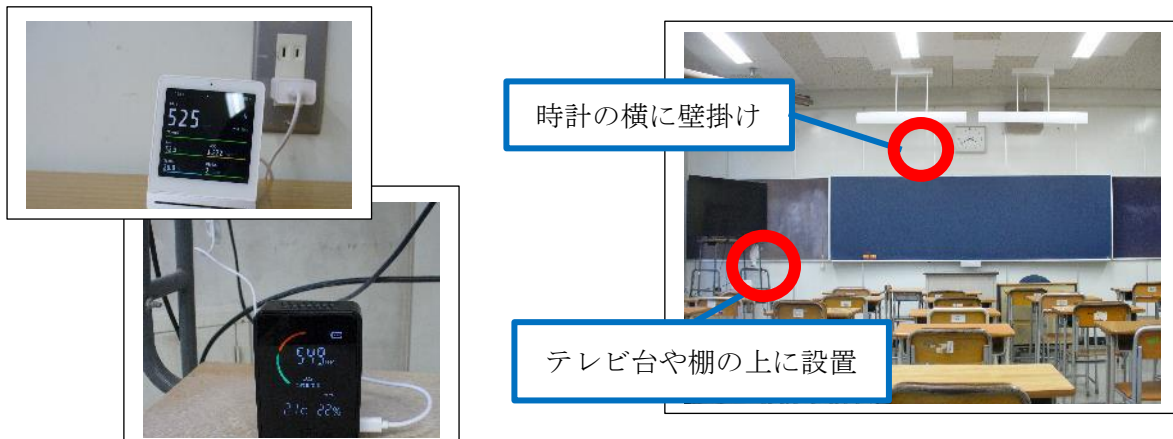
1 実施概要

換気方法	クラス内の二酸化炭素濃度 1,000ppm※を目安に換気に取り組みます。
対象	横浜市立学校全校（小・中・義務教育・高等・特別支援学校）
設置台数	全校（509校）全クラスに設置します。 各校の4台をインターネットに接続し、この4台分の情報が随時確認できるように専用のWEBページに公表します。
URL	https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/hoken/kuukimieruka.html

※ 政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会において、学校でも「できる限り 1,000ppm 相当の換気等に取り組むことが望ましい」とされていることを踏まえた目安

2 教室内の設置場所のイメージ

文部科学省から推奨の設置箇所が示されていることを踏まえ、二酸化炭素濃度が大きく変わらない窓などの開口部付近を避け、教室の形状に合わせて設置箇所を決めています。



※ CO₂モニターは、インターネット接続タイプと非接続タイプの2種類のいずれかを各クラスに設置

3 公表 WEB ページ

公表 WEB ページでは、地図上に各校の換気状況が表示されます。また、区ごと校種別（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）を選択し、一覧で表示することもできます。

空気環境見える化MAP

マークについて

キャラクターの表情で空気の状況を表現します

700ppm以下 701~1,000ppm 1,001~1,200ppm 1,201~1,500ppm 1,501ppm以上

特徴

学校名をクリックするとウィンドウが開きます

特徴

個々のデバイスをクリックすると二酸化炭素濃度などの記録が見られます

▲「空気環境見える化 MAP」で各校の換気状況が MAP 上に表示されます。

▲区ごと・校種別にも表示可能です。
各校の空気環境が表示されます。

▲CO₂モニターごとに、二酸化炭素濃度、温度、湿度の推移グラフが表示されます。

4 インターネット接続タイプの設置箇所

原則として以下のとおり各学年の1つの教室等に設置しています。

小学校	device1	4年生の教室に1台
	device2	5年生の教室に1台
	device3	6年生の教室に1台
	device4	個別支援学級・特別教室等に1台
中学校 高等学校	device1	1年生の教室に1台
	device2	2年生の教室に1台
	device3	3年生の教室に1台
	device4	個別支援学級・特別教室等に1台
特別支援学校	device1~4を学校で選定した教室等に設置	

※高等学校で4学年までである学校については、device4を4年生の教室に1台設置